

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2021年4月16日

商工中金

地域の経済活動を支える両備ホールディングス株式会社様に対し、 災害対応型コミットメントラインを締結

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（岡山支店）は、両備ホールディングス株式会社様（本社：岡山県岡山市、代表取締役：松田 敏之様）に対し、災害対応型コミットメントライン（※）10億円を開設しました。なお、本件は中国エリアの事業会社に対して、初めてBCP対策の融資枠を開設するものです。

同社は、バスや鉄道等の運輸事業をはじめ、スーパーマーケットや不動産事業など、多くの事業を展開しています。また、44社・約1万人の従業員を抱える同グループの中核事業会社として、社内カンパニー制度によるスピーディな経営判断のもと、幅広い活動を通して地域経済の発展に貢献しています。

今回、同社は、2018年の西日本豪雨（県内死者61名等）や昨今日本各地で相次ぐ台風等による水害や地震発生を踏まえ、大規模災害時には金融機関の貸付不能事由となる一般的なコミットメントラインではなく、有事に安定した資金調達が可能な「災害対応型コミットメントライン」の導入を計画しました。これにより、有事においても県内の公共インフラなどで事業の継続性を高め、利用者や地方公共団体等のステークホルダーからの信頼を高めていきます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた事業性評価を実施。両備グループの中核企業として、公共交通事業を中心に地域の活性化を牽引する同社の取組みは、関連する多くの事業者や地元経済にとって極めて重要と判断。同社のBCP対策の一環として、岡山県下での災害時等に備え、資金の出し入れが自由な災害対応型コミットメントラインを開設しました。

商工中金は、こうしたシンジケートローンへの取り組み等を通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献していきます。

【災害対応型コミットメントライン契約（※）の概要】

コミット総額	10億円
契約締結日	2021年3月26日
コミット期間	2021年3月26日～2022年3月25日（更新OP4回）
特徴	岡山県及び東京23区下における震度6弱以上の地震発生時や計画高潮位を示した水害もしくは災害救助法が適用された津波による水害時にも、コミット総額の範囲内であらかじめ定められた条件に基づく迅速な資金調達が可能。

【両備ホールディングス株式会社様の概要】

所在地	岡山県岡山市北区錦町6-1	資本金	4億円
代表者	松田 敏之様	従業員数	2,286名（2021年3月現在）
業種	運輸・交通・観光関連、生活関連、不動産関連事業他	設立	1936年5月

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※) コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。一般的なコミットメントラインでは、震災等の大規模災害時には金融機関の貸付不能事由とされているため、企業にとって大規模災害発生直後の資金確保に困難が生じる可能性があります。一方、災害対応型コミットメントラインは、一定規模以上の震災等について金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっているため、震災等の異常事態発生時も含めて、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能となります。